この多面待ちは、 のリャンメン街と のタンキ待ちが複合した待ちになります。

点棒の支払

麻雀役の飜数とドラの枚数の合計、手牌の面子の構成によって点数が決まります。
ロンアガリのときは、切った牌でロンアガリされた人が全額（振り込みといいます）を
ツモアガリの時は、他の３人がそれぞれ支払います。
子のときにツモアガリした場合は、アガった点数を４ （人）で割って、
割った点数分を他の子が１人ずつ、親はその点数の２人分を点棒で支払います。
親でアガぅた場合は、子の３人がそれぞれ支払います
例　　子の点数で、8,000点をアガった場合
子がロンアガリ　8,000点を振り込んだ人が→アガった子へ
親がロンアガリ　1.5倍の12,000点を振り込んだ人が→アガった親へ

子がツモアガリ　8,000÷4（人）＝2,000点
子1人2,000点ずつと親は4,000点（2人分）→ツモアガリした子へ
親がツモアガリのときは、1.5倍の12,000÷３（子の人数）＝4,000点を
子1人4,000点ずつ→ツモアガリした親へ支払います。
積み場のときは、1本場300点にナリマスノデ、アガったときにその分点数に足されます。
ロンアガリのときは、アガった点数＋300点（1本場）をアガった人へ
ツモアガリのときは、それぞれの支払う点数＋100点（1本場・３００÷３（人））をアガった人へ
支払います。